

国連ユニフェムに新事務局長が就任

昨年9月、13年間にわたり国連ユニフェム事務局長を務めたノエリーン・ヘイザーさんが、国連 ESCAP（アジア太平洋経済社会理事会）事務局長として転任して空席になっていたが、2008年4月8日ユニフェム第4代事務局長にスペイン出身のイネス・アルベルディ（Inez Arberdi）さんが任命され、6月に就任した。

イネス事務局長は、前職がマドリード大学社会学教授であり、1993年より政治社会学、ジェンダー社会学の教鞭をとっていた。2003~2007年まではマドリード議会議員を務め、EC(欧州委員会)の雇用均等部会の専門家として「女性のための仕事・家庭・職業選択問題ネットワーク」担当、アメリカ開発銀行の途上国女性問題担当やINSTRAW（国際婦人調査訓練研修所）理事などの要職を歴任した。

イネス新事務局長の就任の抱負

「大きな希望を持って着任し、できる限りの貢献を決意しています。女性の権利とジェンダー平等への取り組みのなかで、ユニフェムはいつも私の最大のよりのところでした。ユニフェム活動の先頭に立って、あらゆる努力を惜しまないつもりです。」

と就任の決意を述べています。



《歴代の事務局長》

初代：マーガレット・スナイダー
(Margaret Snyder) アメリカ出身
=1978~1989

第2代：シャロン・ケイプリング・アラキ
ジャ (Sharon Capeling-Alakija)
カナダ出身=1989~1994

第3代：ノエリーン・ヘイザー(Noeleen
Heyzer) シンガポール出身
=1994~2007

会員の皆さまへのお願い！

毎年、会員の皆さまには多大なご協力を賜り、心より感謝申し上げます。2008年も夏を迎え、いよいよ後半の事業に取りかかります。役員一同新たな決意で臨んでおりますが、今年度の会費が未納の方は、お忘れなくお振込みくださいますよう、宜しく願い申し上げます。

ご送金の折、経費節減にご協力ください。

ATMでは、80円（窓口では、120円）

郵便振替：00190-6-550880

口座名：「ユニフェム東京」

「TICAD IV」とユニフェム

日本政府主催の「第4回アフリカ開発会議（TICADIV）」が横浜市で開かれ、前日の5月27日午後、「アフリカの開発と女子教育－就学率の向上を目指して」と題した国際シンポジウムが、文部科学省と横浜国大の共催で開催された。

《リベリアの女性大統領講演要旨》



アフリカ初の女性国家元首、リベリア共和国のエレン・ジョンソン・サーリーフ大統領は、基調講演で「80年代に紛争が多発したなかで男女の格差が拡大し、多くの女性が犠牲になった。2001年の世銀の調査では、格差によって国の経済力が減少したとある。まず、女子教育から始めなければならない。教育が進展しなければ、アフリカの開発に貢献できない。リベリアの女子初等教育は54%と、男子より伸び率は高いが、貧困・児童労働・人身売買・インフラの欠如等が就学の妨げになっている。若者の40%は発育不全で、少女はレイプの標的になっており、初産年齢は平均して13歳未満で、母親の死亡率は高い。

若者の大半がHIVに感染している現状であるが、この2年間に就学率が上がり、65%を超えた。また、5歳児の95%に予防接種できるようになった。レイプが刑罰の対象となり、家族計画の普及が取り入れられている。引き続きの支援をお願いして我々は、『依存から自立』『援助から貿易立国』を目指し、競争力あるアフリカにしたい。」と訴えた。

《国際シンポジウムから》

シンポジウムの冒頭、池坊文部科学副大臣は、サーリーフ大統領を迎えるに当たり、ユニフェム日本国内委員会・有馬理事長の尽力への感謝を述べ、次のように挨拶した。「異文化共生と万人の幸福、戦争のない世界を築くには、女性と次世代の教育にかかっている。女子の教育がなされれば、生活に基礎的な力がつき、それは多方面にわたり、子どもにも教育がなされ、HIV/エイズ・マラリア蔓延防止にも繋がる。」と。

日本側から登壇した日赤九州国際看護大学の喜多悦子学長は、女性の識字率と乳児死亡率が関連するとグラフと数値で示し、「日本の発展には戦後の経済発展と共に保険医療制度とサービスの改善があり、女性が高等教育を受けられたことが大きい。江戸時代は女の子ばかりの寺小屋もあり、女性の高い識字率があった。」と説明した。

後半のパネルディスカッションには、国連事務局次長兼UNFPA事務局長のトラヤ・A・オベイド氏やユネスコ/アフリカ地域教育事務所のンドングジャッタ所長、アフリカ女性教育者フォーラムのディアウ事務局長ら6人の女性が参加。進展しているが、まだまだ及ばないアフリカの現状報告があった。オベイド事務次長は、17%にすぎない中等教育の重要性を指摘、「教育は開発と人間の安全保障の基本的な要素である。」と力説した。

ユニフェム事務局長代理

ジョアン・サンドラーさん来日！

サイドイベントの国際シンポジウムに、「ユニフェム本部」からジョアン・サンドラーさんとアフリカ担当のフローレンス・ブテグアさんが出席した。会場の主賓席のサンドラーさんから「ジェンダーに配慮した教育、保健制度の強化など」の貴重な提言があった。

同日、昼前には二人を迎え、歓迎昼食会が持たれた。ユニフェム国内委員会と地域等委員会のメンバー40名が出席。席上、サンドラーさんは「日本国内委員会は、ユニフェムにとって大切なパートナーであり、おかげで基金が増加している。女性に対する暴力の廃絶は重要である。セネガルでは、サパテロ首相を初めすべての閣僚が、Web上のキッドマン・キャンペーンにサインをしてくれた。紛争後のケアはアフガニスタンでも深刻な問題になっているが、ガバナンス（政府）の問題としてその取り組みについても考えていきたい。イネス新事務局長は、就任4～5ヶ月後に来日を望んでいる。」と挨拶した。



左から2人目サンドラーさんと右端ブテグアさん



「ユニフェム東京」の友と

齊藤一也さんのピアノリサイタル

しばし上野の山が鼓動！！

上半期の最大のイベントである「ピアノリサイタル」が、齊藤一也さんを迎えて、上野の「東京文化会館」(小ホール)で、5月10日(土)の午後2時より開催された。朝からの豪雨にもかかわらず来館された多くの皆さんは、ホールを揺るがすようなその見事な演奏に、彼がまだういういしい芸大の1年生であることすら忘れさせられ、堪能した。2時間に及ぶベートーベン・ショパン・プロコフィエフなどの全ての曲を暗譜で演じた力量は、まさに大器そのものと感嘆。



リハーサル中の
齊藤さん

「オールソフィアン・デー」に

「ユニフェム東京」も出店！

卒業生の「家族祭」に、「ユニフェム東京」もお馴染みのグッズやフリー・マーケットを出店。雨の中、学生寮のOGや他のボランティア団体と軒を並べ、全員が売り子に徹し、例年の売上げをキープした。



舞台裏に控えた調律士さんも「まれに見る力強い音色に驚きました。」と賛辞を惜しまなかった。終了後ロビーでは、彼が招待した友人や後輩の方々が、歓声で迎えていたのが印象的であった。

ランチョン

ラオスの文化を知る集い

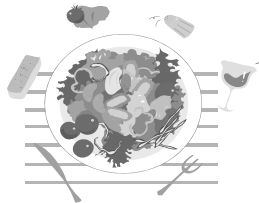
4月24日(土)

表参道・青山スパイラル
ラオスのポップスが流れる
レストラン「CAY」で

若者が闊歩する土曜の昼、表参道のレストランでランチョン「ラオスの文化を知る集い」を開催。

ラオス料理を中心にしたアジアの料理に舌鼓し、大使館のブンミー書記官からラオス料理や文化・教育について身近に聴くことができた。

書記官は3年前からのユニフェムのプロジェクト支援に感謝。コスチュームの素敵な着方も伝授してくれた。



ラオス 大使館 主催

ラオス料理の

デモンストレーションと懇談

6月20日(金)昼、大使館の書記官からの提案で、大使夫人の招待のラオス料理のデモンストレーションが、西麻布のラオス大使館で、36名の参加を得て、実現した。

とても気さくな駐日ラオス大使夫人は、「すばらしい皆さんとラオス文化の交流ができることに感謝します。今日だけでなく、またこのような機会を持てればと思います。」と挨拶し、書記官と共にラオスの手工芸品の説明やテーブルを回り、さまざまなサービスをしてくださった。

会場の一角で実演するシェフを囲み、レシピを見ながら「ラープ」やサラダの作り方を学び、ランチをいただいた。《メニュー》ミートボールと野菜のスープ

ラオス風焼き鳥

タム・マークフン (青いパパイヤの辛いサラダ)

ラープ (ひき肉と香草のスパイシーサラダ)

蒸したもち米と辛い味噌、その他、デザート



大使館でのシェフの実演

お知らせ 1

「ユニフェム東京」の 「ホームページ」がリニューアルしました。

会員の皆さまに「ユニフェム東京」の活動状況をリアルタイムで知っていた
だこうと開設。新しいニュースも満載！是非、下記のアドレスにアクセスを！

<http://www.unifemtokyo.org>

熱い！

ニコール・キッドマン ユニフェム親善大使の呼びかけ



SAY NO to Violence against Women

『女性への暴力に反対の声を上げよう！』: SAY NO! のキャンペーンです。

世界中の女性の3人に1人が、一生のうちに虐待や暴力を受けている可能性があり、これは恐るべき人権侵害です。しかし私たちは、この事実を終わらせることができます。

私は国連女性開発基金（ユニフェム）の親善大使として皆さんに、ユニフェムのホームページで、「SAY NO!」にアクセスしてほしいのです。世界中の人々がこの運動に参加すれば、各国政府に《女性への暴力をなくすことを優先課題にしなければならない》という強いメッセージを送ることになります。

何十万、何百万の人々に行動を起こしてほしいのです。女性への暴力を防ぎ、被害者を守り、支援を提供できる体制づくりに皆さんの力を貸してください。お友達、ご家族、職場の人たちにも署名を勧めていただきたいのです。

あなたの署名をしていただくためのアドレスは、

<http://www.saynotoviolence.org/>

(日本語表記ではありません)

- ★ 日本の自治体では、横浜市長、堺市市長・市議会議長を初め4名がサインしました。世界では今までに、23万人を超える人々のサインが登録されました。新事務局長誕生の国・スペイン政府も署名しました。
- ★ 6月23日には、9カ国の新しい国々の外相や総理大臣や欧州委員会がオーストリアのウィーンで行われたイベントで、SAY NO! キャンペーンに署名しました。
- ★ このキャンペーンは11月25日「女性の暴力撤廃の日」までで続けられています。少なくとも100万人の署名が必要です。

オープンルーム！

「ユニフェム東京」事務所で、
グッズの販売と装飾品・小物の掘り出し市を開催します。ステキな品を安く・・・。

《期間》9月8日(月)～12日(金)

am 11:00～pm 3:00

また、ご寄付で小物をお出しくださる方は、お持ちください。

お知らせ 2

エイボン・プロダクツが

ユニフェムとパートナーシップを結ぶ！

エイボン・プロダクツは、国連女性開発基金（ユニフェム）と女性のエンパワーメントを促進し、女性に対する暴力を終わらせるためのパートナーシップを結び、全世界で販売する「ウィメンズ・エンパワーメント・ブレスレット」の販売利益を、ユニフェムが運営する「女性に対する暴力撤廃信託基金」に、100万ドル（1億円）寄付すると発表した。

また、「エイボン エンパワーメント基金」を設立し、ユニフェムとの新しいパートナーシップの一翼として、全世界の女性に対する暴力の蔓延を防ぎ、減らすための法律や政策、政府計画の施行にむけた重要な取り組みに役立てられることになった。

ウィメンズ・エンパワーメント・ブレスレット

このブレスレットは女性の無限のチャンスを秘めた、力強い主張を表すシルバーバートーンの無限大のシンボルが特徴です。エイボンのグローバル・アンバサダーのハリウッドの女優リース・ウィザースプーンは、「このブレスレットをつけて世界中の女性の無限の可能性に向かって団結していただきたい」と意欲を燃やしています。

ユニフェム・グッズ



巻きスカート



ワンピース



カフェエプロン



スカート付き
パンツ



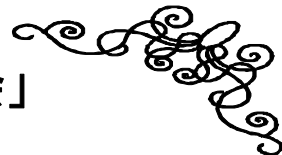
エプロンドレス



ラオスの工芸品・バッグ

支援国の
身近な状況が聞けるこの機会に
是非、ご参加下さい。

ユニフェム東京「第7回お話の会」



カンボジアの子どもたちのために
学校をつくろう！！

NPO法人「アマタック(AMATAK)
カンボジアと共に生きる会」
講師：後藤 文雄 氏

2008年9月22日(月) 13:30~15:30
四谷地域センター 11F 会議室

新宿区内藤町87 四谷区民センター内
TEL: 03-3351-3314

交通機関：地下鉄丸の内線「新宿御苑前」より徒歩5分
都バス 品97新宿駅西口～品川車庫
「新宿一丁目」より徒歩1分

NPO法人ユニフェム日本国内委員会
/東京地域委員会

ユニフェム東京 第13回チャリティーコンサート

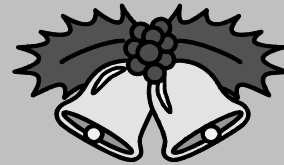
♪ 2008 クリスマスコンサートへのお誘い♪♪

横山幸雄 (ピアノ) &
矢部達也 (ヴァイオリン)

デュオ・リサイタル

12月20日(土) 13:30開演/13:00開場
紀尾井ホール 入場料：5,000円(全席指定)

主催：ユニフェム東京



★チケットお申し込みについて

- * チケットお申し込み・発売開始：9月末日より
- * 郵便または FAX (03-6228-0029)・HP で受付ます。
- * 代金お振込み確認後にチケットをお送りします。
- * 振込先：みずほ銀行北沢支店 普通 1025389
ユニフェム東京 代表 五十嵐康子

☆ご入会・ご寄付をいただき有難うございました。

新規会員

太田 恵子 吉田 房江
小林八枝子 中曾美穂子
鷺見八重子 平林佐保子
田中 正子 大西 道子
加納 孝代 椎名 秋子
古谷スミ子 豊田 理佳

寄付

池貝 孝子
富樫 絢子
長田 満江
佐々岡敏子
山田美也子
白根 和味
山田 信子
亀田 篤子
群馬婦友会

活動寄付

西郷 尚子 有馬真喜子
望月 浪江 大岡 静衣
山田美也子 山口みつ子
市川ミサオ 尾上 夏子
高橋 克子 雨宮 祥子
宮沢 幸子

2008年2月～2008年6月末日 (敬称略)

【編集後記】

- ★このごろの社会のひずみが個人を圧迫しているのが目立ちます。「個人よ強くあれ！」と叫びたい気持ちでいっぱいです。教育もその土台作りなのだ、アフリカ会議のシンポジウムで痛感し、ユニフェムの支援活動も女性個人を強くするための力になっていると改めて思いました。(T)
- ★今年MDG's達成目標までの中間年、欧州委員会がサポートした会議で、HIV/エイズ感染防止とジェンダー平等/女性のエンパワーメントのための効果的な援助資金増額をユニフェムとINSTRAW が加盟国に呼びかけた。カルメン・モレノINSTRAW理事長は援助資金が効果的、実効性あるためには、ジェンダー平等とHIV/エイズに対して先ず持続的にバランスよい配分と経費の透明性が必要と述べている。秋のハイレヴェルフォーラム主要議題となることを期待。(S)

ユニフェム東京 NEWS 第25号

発行人：ユニフェム東京会長 五十嵐康子
発行日：2008年7月30日

ユニフェム東京事務局
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-23-1
ニュースデスク 331
TEL&FAX：03-6228-0029

郵便振替：00190-6-550880
http://www.unifemtokyo.org
E-mail: unifemtokyo@unifemtokyo.org